

ふかえりのわくわくFP通信

ちょっと気になる「資産運用」「保険」「年金」などお金についての話題をお届けします。

ご挨拶

新緑のまぶしい季節になってきました。
3年ぶりに制約が無いGWで外出を楽しんだ方も多いのではないのでしょうか？



今年の国内旅行者数は2470万人と過去最多とか。そうなると悩みのタネとなるのが渋滞ですよね。全国で発生する渋滞を貨幣価値換算すると年間で約12兆円の経済損失になるとの試算もあるそうです。

その他にも渋滞で速度が1/4になると燃費は2.5倍になり、排気ガスによる環境への負荷も2倍になると言われます。

経済的にも環境的にも渋滞は大問題なんですね。

これを解消するために面白い制度を導入しているのがイギリス。

ロンドン中心部に入るのに15ポンドの支払いを義務付ける「渋滞税」を設けたことで渋滞を約30%減らすことに成功したそうです。

日本でも導入の余地はあるかもしれませんね。

私のGWは、いつもと変わらず。

ただただ溜まっていた事務仕事と家事に励み、古いタオルで使い捨て雑巾も沢山作り渋滞に巻き込まれることもなく、静かなものでした。

こども家庭庁発足

子ども政策の司令塔となる「こども家庭庁」が先月発足しました。厚生労働省や内閣府などにまたがってきた少子化対策や子育て支援を一体で担うようになります。施策の改善が必要だと判断すれば他府省に勧告できる権限をもちます。

児童や若者、子育て世帯の人たちを審議会に呼んだり、SNSの投稿を集めたりしてこの世代との接点を増やし、「こどもどまんなか」社会の実現を目指します。

少子化対策についての目玉政策の一つに児童手当の「所得制限撤廃」があります。手当を受けることができるのはうれしいのですが、やはり気になるのはその財源です。

増税はできないので社会保険料を上乗せするという意見もあるようですが、社会保険料を負担する世代と子育て世代が重なることを考えると効果が相殺されてしまうのではないかと少し心配ですね。

その他にも、男性育休取得率の向上、授業料後払いや奨学金制度の拡充、保育士の配置基準の改善、出産費用の保険適用、学校給食の無償化などが議論されていく予定です。

新しい省庁なので前例にとらわれずに議論を深め実効性のある政策を期待したいですね。



「みらいのお金クリニック」
アルシアコンサルティング株式会社
深川 恵理子

〒251-0023 神奈川県藤沢市鵜沼花沢町2-3PHビル2階
TEL 0466-54-8417 CALL 090-8437-5259

HP click ◀ Blog click ◀ LINE friend ◀ Twitter follow ◀

ちょっと気になるお金のコラム

今年の世界長者番付

LVMHのベルナール・アルノー氏が1位

先月米国経済誌Forbes誌は世界長者番付を発表しました。初の1位になったのはLVMHのベルナール・アルノー氏で資産額2110億ドル（約27.43兆円）、2位はツイッターの買収などで注目されたイーロン・マスク氏の1800億ドル（約23.40ドル）でした。

世界長者番付トップ10 (億ドル) (兆円)

1	ベルナール・アルノー一家 LVMH/フランス	2110	27.43
2	イーロン・マスク テスラ/アメリカ	1800	23.40
3	ジェフ・ベゾス アマゾン/アメリカ	1140	14.82
4	ラリー・エリソン オラクル/アメリカ	1070	13.91
5	ウォーレン・バフェット バークシャー・ハサウェイ/アメリカ	1060	13.78
6	ビル・ゲイツ マイクロソフト/アメリカ	1040	13.52
7	マイケル・ブルームバーグ ブルームバーグ/アメリカ	945	12.29
8	カルロス・スリム・ヘル 通信事業/メキシコ	930	12.09
9	ムケシュ・アンバニ リライアンス・インダストリーズ/インド	834	10.84
10	スティーブ・バルマー マイクロソフト/アメリカ	805	10.47

<https://www.forbes.com/billionaires/> 1ドル=130円で換算

保有資産10億ドル（1300億円）以上のビリオネアは2640人、資産の合計は12兆2000億ドル

（1586兆円）でした。日本人のトップ3は以下の3人です。

(億ドル) (兆円)

39	柳井正 ファーストリテイリング	32.6	0.42
69	孫正義 ソフトバンク	22.4	0.29
77	滝崎武光 キーエンス	21	0.27

ビリオネアの特徴は？

●兆円、ましてや10兆、20兆、と言われてもあまりにも自分とかけ離れていてピンとこないと感じるのではないのでしょうか？

ビリオネア達の特徴をみると、彼らの多くは創業した会社が大きく成長し、その株式を大きな比率で持ち続けた人であることがわかります。つまりお金持ちになるためには起業し、その会社が成長すればよいということになります。

しかしながら誰でもが彼らのようになれるわけではありません。彼らの影で起業に失敗した人も数多くいるのも事実です。

金融商品の中にはビリオネア達の事業の成果を得ることが出来るものもあります。今後はこのような金融商品を上手に活用することを検討しても良いかもしれませんね。

